

目 次

報告書作成の趣旨	P 1
1 作成の趣旨	
2 作成の経緯	
3 報告書の性格	
三方五湖の現状と課題	P 2
保全・活用の基本的な考え	P 3
1 ラムサール条約による保全・活用の原則	
2 三方五湖の特色を活かした保全・活用	
(1) 自然環境を活かす取組み	
(2) 地域の共同体による取組み	
(3) 地域の伝統、文化を活かした取組み	
(4) 社会の進展に対応した新しい取組み	
3 保全・活用の基本的な考え	
三方五湖の保全・活用の方向	P 6
具体的な保全・活用の方策	P 7
1 守り・再生する	
(1) 多様な野生生物、特に魚類や渡り鳥の生活環境の保全・再生	
(2) 水質の保全と浄化	
(3) 山、川、里、湖、海が繋がる変化に富んだ自然景観の保全・再生	
2 創り・活かす	
(1) 時代の要請に対応した新しい利用価値の発見とラムサール条約湿地の知名度を活かした売り出し	
(2) 三方五湖の自然環境を壊さない保全とバランスのとれた活用	
3 学び・伝える	
(1) 環境学習の機会の拡大	
(2) 環境学習の内容の充実	
(3) 具体的な活動への移行	
保全と活用を結びつける仕組みづくり	P 16
1 保全を行う住民・団体等と活用を行う住民・事業者等の融合	
2 保全活動支援のための財源の確保	
各主体の役割と推進体制	P 18
1 各主体の役割	
2 推進体制	
参考資料（各種データ、検討委員会開催要領、委員名簿、検討経緯）	
